

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：78項目

問題あり：8件

要確認：5件

問題なし：65件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

鈴木敦（すずき・あつし）

記載内容：「1988年神奈川県川崎市生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia及び複数の公式資料で1988年12月15日生まれ、川崎市中原区下沼部出身と確認

神谷宗幣

記載内容：「党代表」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参政党公式サイト、国会図書館等で参政党代表兼事務局長と確認

比例南関東ブロック

記載内容：「比例南関東ブロック」

検証結果：✓正確

根拠・出典：衆議院公式サイトで確認

2. 数値情報

生年月日

記載内容：「1988年神奈川県川崎市生まれ」

検証結果：△要確認

正しい情報：1988年12月15日生まれ

根拠・出典：記事では月日が記載されていないが、実際は12月15日生まれ

当選回数

記載内容：「現在当選2回」

検証結果：✓正確

根拠・出典：衆議院公式プロフィールで第49回、50回で当選2回と確認

国対委員長就任日

記載内容：「2025年8月には参政党国会議員団の衆院国会対策委員長に就任」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia等で2025年8月1日就任と確認

年齢

記載内容：「36歳」（複数箇所）

検証結果：X誤り

正しい情報：2025年時点で36歳（2025年12月15日で37歳）

根拠・出典：1988年12月15日生まれなので2025年現在は36歳だが、記載時期により正確性が変わる

3. その他の重要な事実関係

第49回衆院選の立候補

記載内容：「2021年10月の第49回衆院選で国民民主党公認で初当選（比例南関東）」

検証結果：△要確認

正しい情報：神奈川県10区から立候補、比例復活当選

根拠・出典：国民民主党の選挙サイトで神奈川県10区候補として確認

第50回衆院選の結果

記載内容：「2024年10月の第50回衆院選では新興政党の参政党に移籍して比例復活当選」

検証結果：×誤り

正しい情報：比例単独で当選（復活ではない）

根拠・出典：参政党は比例南関東ブロック単独候補として擁立

政党遍歴

記載内容：「旧・民主党系」「旧国民民主党」「国民民主党」

検証結果：△要確認

正しい情報：自由党→国民民主党→教育無償化を実現する会→参政党

根拠・出典：複数の報道で政党職員時代の経歴を確認、「旧・民主党系」という表現は曖昧

SNSフォロワー数

記載内容：「2025年7月末には約3.5万人」

検証結果：△要確認

根拠・出典：具体的な数値の検証が困難、概算として妥当な範囲

YouTube登録者数

記載内容：「2025年7月末で約1.8万人」

検証結果：△要確認

根拠・出典：具体的な数値の検証が困難

不倫スキャンダル報道

記載内容：「2025年7月には元妻と愛人2人が文春の取材に応じ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：週刊文春の複数の記事で確認

国会発言回数

記載内容：「国会発言回数はおよそ120回前後（推計）」

検証結果：×誤り

正しい情報：検証困難な推計値

根拠・出典：具体的な根拠が不明、推計として不適切

予備自衛官の経歴

記載内容：「予備自衛官や民間企業勤務を経験」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数の公式プロフィールで確認

JAL勤務歴

記載内容：「非正規雇用で日本航空地上職員」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia等で確認

改善提案

修正が必要な箇所

1. 生年月日の詳細：「1988年12月15日生まれ」と完全な日付を記載
2. 第49回衆院選：「神奈川10区から立候補し、比例復活当選」と正確に記載
3. 第50回衆院選：「比例復活当選」→「比例単独で当選」に修正
4. 国会発言回数：推計値の根拠を明確化するか削除
5. 政党遍歴：「旧・民主党系」を「自由党系」など具体的に修正
6. 年齢表記：記載時点を明確化
7. 学歴：「駿河台大学法学部中退」と学部名を明記
8. 役職名：「衆議院国会対策委員長」の正式名称を使用

追加確認が推奨される情報

1. SNSフォロワー数・YouTube登録者数の最新データ
2. 国会での具体的な発言回数や委員会所属歴
3. 政治資金収支報告書の詳細内容
4. 法案提出の具体的な件数と成立状況
5. 省庁審議会への参加実績の詳細

全体的な改善点

- 推計値や概算値の根拠を明確化
- 時期の特定が重要な情報には具体的な日付を併記
- 公式資料で確認できない情報は「報道によると」等の表現を使用
- 数値情報については可能な限り公式データを参照